

【0115】パニツムマブ+FOLFIRI 療法

【投与スケジュール】1 コース=14 日

1 コース

一般名	商品名	略号	投与量	1W	2W
パニツムマブ	ベクティビックス	Pmab,Pani	6mg/kg	↓ Day1	
イリノテカン	イリノテカン	CPT-11,IRI	150mg/m ²	↓ Day1	
レボホリナートカルシウム	レボホリナート	I-LV	200mg/m ²	↓ Day1	
フルオロウラシル	フルオロウラシル	5-FU	400mg/m ²	↓ Day1	
フルオロウラシル	フルオロウラシル	5-FU	2400mg/m ²	↓ Day1	

【投与日のタイムテーブル】

滴下順	薬品名	用量	投与時間	
Day1				
内服	生食注シリンジ 10mL	1 本	フラッシュ	
①	グラニセトロンバッグ(3mg/100mL)	1V	30 分	
	デカドロン 3.3mg	3A		
②	ベクティビックス	6mg/kg	60 分	
	生理食塩液 100mL	1 本		
③	生理食塩液 50mL	1 本	5 分	
④	イリノテカン	150mg/m ²	(同時に) 2 時間	
	生理食塩液 250mL	1 本		
④	レボホリナート	200mg/m ²		
	生理食塩液 250mL	1 本		
⑤	フルオロウラシル	400mg/m ²		全開で
	生理食塩液 50mL	1 本		
⑥	フルオロウラシル	2400mg/m ²	46 時間	
	生理食塩液	適量(※)		
⑦	生食注シリンジ 10mL	1 本	フラッシュ	

(※)入院用レジメンは生食 500mL、外来インヒューザーポンプ使用時は、生食の液量を調整

<パニツムマブ(ベクティビックス®)>
インラインフィルター(0.2 または 0.22 ミクロン以下)を使用すること

催吐性	最小度(予防的制吐剤使用なし)
組織傷害性	ベクティビックス:非炎症性 イリノテカン:炎症性 フルオロウラシル:炎症性
代表的副作用	ベクティビックス >10%・・・皮疹、皮膚乾燥、掻痒、爪囲炎、口内炎、疲労、食欲不振、低 Mg 血症 イリノテカン >10%・・・骨髄抑制、下痢、悪心、嘔吐、食欲不振 <1%・・・間質性肺炎 フルオロウラシル >10%・・・食欲不振、下痢、口内炎、骨髄抑制 頻度不明・・・心筋虚血、白質脳症

【注意事項】

レボホリナートとイリノテカンは同時に滴下する

(ベクティビックス)

RAS 遺伝子野生型であることを確認すること

(イリノテカン)

UGT1A1 遺伝子多型検査時には、院内規定の説明文書・同意書を使用する